

令和5年度 事業者向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果

公表日: 令和5年11月1日

リアン稲城

配布:職員 8名

有効回答:職員 8名

事業所番号: I355100130

	チェック項目	はい		どちらともいえない		いいえ		無回答		ご意見	工夫している点	改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が(子どもの過ごす)指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・利用定員を考えてスポットを取っている。	指定基準40㎡のところ、約59.7㎡の活動スペースを確保しております。活動の部屋と静かな部屋と区別しており、また、個別療育室も設置しております。活動内容や利用児の特性に合わせた使い方をしております。	
	2 職員の配置数は適切であるか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・必要な人数を本部に伝え、概ねは配置人数は必要な分は満たしている。 ・子どもの人数にあわせて配置人数を考えている。	・現在、常勤職員3名と非常勤職員3名で主に運営しております。さらに、支援内容や利用児数、利用児の特性に応じて、他の事業所から非常勤職員を補充し、常に基準以上の職員配置を維持しております。児童指導員、教員免許、作業療法士、言語聴覚士など、有資格者が在籍している他、ダンスやリトミックの分野ではプロの講師を招聘しています。また、不定期ではありますが、将来専門職を目指す高校生や大学生のボランティアもお手伝いに来てくれています。年齢層も広く、20代から60代までのスタッフが在籍し、幅広い視点から療育を提供しております。	・報酬改定に伴う減額がある中で、スタッフの増員は困難な状況ですが、これにも努力して取り組んでいきたいと考えています。 ・会社としては、処遇改善加算の要件である資質の向上やキャリアアップを促進する制度を導入しています。さらに、各職員が研修を受けたり、自己啓発に取り組むことで、専門性と人間性を高め、子どもたちが楽しみ、保護者の方が安心してお子様を預けられる環境を築くために尽力してまいります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%			・様々な障害をお持ちのお子様にご利用されているため、安心かつ安全な施設の利用を実現するために、お子様や保護者様の要望にできる限りお応えできるよう、設備の整備に尽力してまいります。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・業務開始前にミーティングを実施し、意見交換を行っています。 ・重要な事項については、申し送りノートや業務日誌で確認できるようにしています。 ・個別支援計画やモニタリングを確認しながら、その日の状況をデータ入力し、遡って児童の状態を確認できるようにしています。	・一人一人の職員がPDCAサイクルを理解し、実践できるよう、研修を強化していく考えです。	

業務改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%		・保護者からいただいた評価やご意見は、常勤および非常勤の全職員に共有し、疑問点があれば質問するように指導しました。	・保護者様からの評価やご意見を謙虚に受け止め、より良い事業所にするために、職員一丸となって取り組んでまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%		・実施内容はホームページに掲載し、それを適切に周知しています。	・今回の評価を振り返り、改善点や不明点を確認し、今後に生かしていく予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	75%	1	13%	1	13%	0	0%		・虐待防止委員会および身体拘束適正化委員会には、第三者の委員が参加しています。	・第三者評価の実施については、本部と連携し検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%	・研修の年間計画を立てればもっと確実に研修を行えると思う。 ・毎回仕事前に、話し合いの場を設けていただきとても仕事しやすい ・虐待研修などを定期的に行っている。	・年に8回（資料回覧を含む）の研修を実施しています。さらに、受動的でなく、外部研修へ積極的に参加するよう働きかけています	・special learningという業者のオンライン講座を導入していましたが、今後はより高度な専門性を持つWEB研修を検討しています。年間および月間の研修計画を策定し、各職員が受講し、学んだ内容を共有することで、資質向上に努める予定です。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%		・入所時には、詳細なアセスメントシートを保護者に提出いただき、さらに最低でも6ヶ月に一度の頻度で保護者面談と行動観察をチームで実施し、これらを通じてニーズや課題を客観的に分析し、個別支援計画に反映させています。	・今後も引き続き、質の高い個別支援計画を作成できるように努めて参ります。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	75%	2	25%	0	0%	0	0%	・専門職として評価ツールは使えておらず観察評価になっている。	・標準化された複数のアセスメントツールを基に、当事業所独自でまとめてカスタマイズしたものを使用しています。	・新たに入社した職員にも、アセスメントツールの作成経緯と読み方を伝え、理解を深められるよう取り組みたいと考えています。また、ご家族、職員、関係機関からの意見を収集し、継続的な改善を行い、より良いものに進化させていく予定です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・常勤で行ってしまっているが、非常勤の方にもプログラム案を事前に募るなどするともっとよい。 ・毎月お出かけなどチームで考えている。	・常勤職員で活動内容を話し合い、決定しています。また、天候や利用児の状況に応じて、必要に応じて活動内容を臨機応変に調整しています。	・今後は、常勤職員だけでなく非常勤職員も含めたチーム支援の視点を重要視し、活動プログラムの策定に取り組んでいきます。

適切な支援の提供

12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は時間が短いので集団における課題をメインに、休日は個々の遊びを細かく支援している。 ・近隣のイベント等に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚統合理論に基づいたプログラムを軸に、動的な活動と静的な活動を組み合わせています。さらに、季節感のあるクリエイティブなアクティビティやイベントを定期的に関催し、頻繁に外出活動も行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でアイデアを共有し、またお子様や保護者様からのリクエストにもできる限り応え、柔軟で魅力的なプログラムを提供していく意向です。 ・心の調和を促進するために、呼吸と姿勢に焦点を当てたヨガを導入する予定です。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・休日や長期休暇中には、通常ではできないような外出活動やクッキングなどの実践型プログラムを積極的に展開しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でアイデアを共有し、またお子様や保護者様からのリクエストにもできる限り応える姿勢を継続しています。今後は、休日や長期休暇の際に、個別支援プログラムも積極的に導入していく予定です。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の個別の状況や特性を考慮し、適切なバランスで個別と集団活動を組み合わせるアプローチを採用しています。アセスメントシートを通じて、お子さまの課題やニーズを明らかにし、それを基に個別支援計画を策定しています。この中で、個別活動と集団活動を適切に統合させるよう配慮しています。 ・人数に制限はありますが、言語聴覚士による個別療育プログラムも開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は時間的な制約があるため、主に集団活動を行っていますが、個々のニーズに合わせて、短時間でも個別支援を提供できるよう工夫して進化させる予定です。 ・また、専門職による個別療育プログラムを今まで以上に強化していく意向です。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・一人が話すのではなく、皆が補足しあって状況を伝えあうことできめ細やかな情報共有が可能となっている。(ただし雑談ではない) ・毎日申し送りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を開始する前に打ち合わせを行い、保護者や学校からの申し送りなどを含め、職員に周知しています。出勤時間が合わない職員には、申し送りノートなどを通じて確認できるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員が与えられた役割だけでなく、全体の機能を把握し、臨機応変な支援が可能なスキルアップを目指していきます。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	75%	2	25%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・共有のノートも作っていただき、休みの時なども、ノートを見て、その日の様子がわかりやすい。 ・申し送りのノート等を活用して職員に周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎があるため、支援終了後に全員で十分な時間を取ることは難しいですが、個別のケース記録や申し送りノート、支援開始前のミーティングなどを通じて情報を共有できるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間でも、問題に気付いた段階で、報告・連絡・相談のプロセスを徹底的に実践しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・記録は主観を入れず、自由時間と集団の時間の様子をなるべく分けて記載している。みんながその記録をすぐ共有する場面があるとよい。(ミーティングで記録と同じ内容を伝えることが多いが) ・日々の記録をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務日誌、連絡帳、ケース記録、申し送りノートを毎日欠かさず記入し、支援の検証・改善につなげるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の記入に時間を費やすことで子どもへの支援に割かれることがあるため、将来的には効率的なPCソフトを用いた連絡帳に移行できるよう検討しています。

関係機関や保護者と	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・モニタリング会議は個別支援会議の半年に1回情報を施設長に集めるだけでなく、もう少し短いスパンで形式問わず行えば良いと思っている。	・定期的に(6ヶ月以内)モニタリングを実施しており、支援計画のモニタリングだけでなく、日々の様子の詳細にお伝えしています。	・個別面談時に、サービス管理責任者以外の支援者も同席させ、面接方法などを伝えていく予定です。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%		・ガイドラインを基盤に、自立支援と日常生活の充実を促進するために、身体を使った運動と創作活動をバランスよく組み合わせて実施しています。	・全職員がガイドラインを完全に理解し、支援できるよう、全職員にガイドラインを配布し、理解を深めるための取り組みを行い、不明な点があれば管理者が指導しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%		・必ず児童発達支援管理責任者が参加することにしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・学校に送迎に行く職員が固定化したりする機会が多いので、固定化しない方がより情報を共有していけるのではないかと思います。(行く職員により情報共有量の差が生まれる) ・送迎時に担当教員にその日の状況を聴いている。	・学校によっては、「保護者をお願いします。」というスタンスで情報共有を行っている場合もあり、保護者経由で連絡調整しているケースもあります。ただし、殆どの学校とは、事務的な連絡はもちろん、お子様の状況についての情報共有も行っており、必要に応じてケースカンファレンスも実施しています。	・今後も、学校との協力関係を強化していく予定です。学校側の受け入れが可能になりましたら、授業参観や行事にも積極的に参加し、学校での様子を定期的に確認する機会を増やしていきたいと考えています。 ・また、学校への送迎時間の誤差があったため、ダブルチェックを徹底していく予定です。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%		・現在、医療ケアが必要な利用児はおりませんが、癲癇発作時の座薬の使用法や対処法について、主治医の意見書を取得し、職員に周知しています。 ・また、お子様が児童精神科を受診する際には、情報提供の一環として、主治医との書面での連絡を行っております。	・必要に応じて、保護者様や主治医などとの適切な連絡体制を構築していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	・保護者を通じて情報共有を行っていると思っている。	・お子様が就学前に保育所などでどのような支援を受けていたかについては、保護者様を介して情報を確認しています。また、必要な場合にはいつでも連絡が取れるよう、連絡先も確認しています。	・今まで以上に連携を強化していくことに尽力して参ります。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	63%	3	38%	0	0%	0	0%	・まだ該当の利用者がいない。 ・まだ卒業した子どもがいないので。	・現在、学校を卒業したお子様はいません。	・新たな対象となるお子様が発生する際には、移行支援会議を主催(または参加)し、情報提供を行います。	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	75%	2	25%	0	0%	0	0%		・自主的に発達障害者支援センターの研修に参加した支援員はいます。	・出来る限り研修の情報を得て、積極的に研修に参加しスキルアップをしています。	

の連携関係機関や保護者との連携

26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	100%	0	0%	1	13%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・多くはないが児童館に行ったり、イベントに参加したりはしている。 ・公園やプールなどのおでかけ ・これから検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・稲城市内の児童館を何度か利用させていただきましたが、スペースに対して利用している児童がかなり多く、手狭で個々のニーズに細やかに対応するのが難しい状況でした。 ・稲城市外の児童館にも問い合わせているのですが、現在も新型コロナウイルスの影響で、市内の利用者に制限がある場合や、人数制限を設けているところが多く、利用が難しい状況でした。 ・当事業所では、市内外の様々な公園、公共施設、民間施設などへの外出を取り入れており、障害のある子ども、障害のない子ども、そして時には世代間の交流を含む遊びを提供するよう心がけています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブも児童館と、どのような形で交流できるかについて検討を進めていく予定です。 また、地域のお祭りやイベントに積極的に参加していく方針です。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	75%	2	25%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・わからなかったため 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自立支援協議会のこども部会には、当事業所の管理者が出席しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の要点を口頭で伝え、議事録を回覧していましたが、非常勤職員の中に、自立支援協議会について理解していない職員がいることがわかりました。そのため、地域支援について、全職員が理解し関心を持てるように伝えていく方針です。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎に出る機会が少ないが、行くことになった際は、保護者様と丁寧にお話と情報共有を心がけている。 ・家に行くって行く時に、その日の状況などを保護者にわかりやすく伝えるように努力している。 ・送迎時にその日の様子など伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳や送迎時の情報交換を通じて、お子様のご家庭における体調などを把握し、支援に取り組んでいます。また、随時、電話、メール、面談などで連絡を取り合い、お子様の少しの変化にも迅速に対応できるよう努力しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、保護者様とは緊密に連絡を取り合い、お子様の健やかな成長に向けて、発達状況や課題について共通理解できるよう努力してまいります。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長が行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な個別面談、連絡ノート、送迎時など、さまざまな機会を利用して、保護者様に対してペアレント・トレーニングなどの支援を提供することを心がけています。また、必要に応じて、利用児に向き合う際に参考になる書籍やWEB教材の紹介、専門のペアレント・トレーニング機関のご紹介も行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では、施設内でペアレントトレーニングの研修を実施することは難しいですが、引き続き、個別面談や日常のコミュニケーションの中で、保護者様とともに子育てをサポートし、共に考えていく姿勢を維持していきたいと考えています。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長が行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時や利用開始の契約時には、資料を提供し、丁寧に説明し、十分ご納得をして頂いたうえで、利用契約をおこなっております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、見学時や契約時にわかりやすく丁寧な説明を心がけます。

31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・施設長が行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のご相談に対して、受容と共感に基づき、傾聴し、その都度寄り添えるような支援を提供し、共に考え、共に悩み、必要に応じてご助言をさせていただいております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会資源として、保護者様が子育ての中での悩みや相談に対応できるよう、職員のスキル向上に尽力していきたいと考えています。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	75%	2	25%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・リアン稲城夏祭りを開催し、保護者様に集まってもらう機会を作った。いずれ保護者会をおこなうのであろうが、まだその企画は話されていない。 ・夏祭りの実施、保護者会等も検討中 ・夏まつりを開催した。また今後も企画したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内で、利用児童主体の夏祭りを開催し、一部の保護者の方もボランティアとして参加していただきました。保護者の方だけでなく、利用児童の兄弟、祖父母様、学校の先生なども来ていただき、施設の様子だけでなく、職員とご家族同士の交流を深めることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度、好評をいただいたリアン稲城夏祭りは、今後も継続して行いたいと考えています。また、保護者会という形式の集まりについても、来年度においても多くの要望が寄せられれば開催したいと考えています。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・どういった内容の事でも、気になったら報告は直ぐにするようにしている。 ・職員同士話し合いの場を設けている。 ・何か問題があった際には、ミーティングや連絡ノートで共有し、施設長が主体的に動いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会で作成した苦情対応マニュアルに従って対応しています。正確な情報（経過、職員の対応など）を調査し、改善策を検討するため、ある程度の時間がかかることがあります。できる限り速やかに、丁寧かつ誠意ある対応を心がけています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児も、保護者様にとっても安心してご利用できるよう、経過、職員の対応、改善策などを含め、迅速かつ丁寧で誠意ある対応を心がけています。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、活動予定表を作成し、それを常勤全員でチェックして配布している。ブログも同様。 ・自分はあまり関わっていないが、施設として情報発信はできている。 ・活動予定表に写真や先月の様子のコメントを載せたり、ブログにてお出かけなどのイベントを載せている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の活動予定表には、活動の様子を写真付きでお知らせしています。また、月に1回以上の頻度でブログを更新することを目指しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログは、保護者様から非常に好評をいただいております。今後も、活動の様子が伝わるような内容を継続的に発信していく予定です。

任 等	35	個人情報に十分注意しているか	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な書類の棚の施錠はもちろん、保護者に対する他の人の情報の伝え方などは施設長にも相談して配慮している。 ・写真を使用する際には、顔を隠すようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の荷物や書類の入れ間違いがありました。あってはならないミスであり深く反省しております。ダブルチェックを徹底していきます。 ・個人情報の取り扱い・管理については厳重に注意しております。お子様の写真につきましては、契約時にいただいた「写真撮影及び掲載についての同意書」で承諾いただいた範囲で掲載しております。 ・日常の様子を写真で撮影しておりますが、その写真はパスワード付きのファイルに入れて管理しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、スタッフ全員でお互いにチェック合って、個人情報漏洩にならないように、荷物や書類、メール、写真等の管理には、十分に気を付けたいと思います。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳など保護者と話をしている。 ・子どもたちと話をする時は、少し目線を近づけるようにしている。 ・送迎時にその日の様子の申し送りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の特性に合わせて、PECS (Picture Exchange Communication System) やジェスチャーなどを併用しながら、わかりやすい伝達の方法や、先の見通し、自分の場所がわかるような構造化を工夫しています。保護者様には、お仕事の都合などに合わせて、連絡帳、電話、お手紙、メール、ご自宅への訪問など、さまざまな配慮をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・リアン稲城夏祭りが、地域に開かれた事業所になる為の第一歩と思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リアン稲城夏まつりは、保護者様以外の方も、ご家族や親戚、関係機関の方にご来場いただく機会を提供しました。 ・地域の催しにおいて、絵画の共同作品などを展示しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様の中には、外部の方に知られたくないという方もいらっしゃることや、防犯の観点から、施設内への来所は関係者に限定しています。しかし、リアン稲城として、地域の場所に向いたり、地域の清掃活動などを積極的にやっていく予定です。
非 常 時 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが2類相当の時は、感染症マニュアルよりも更に厳重なマニュアルを作成して、感染防止を徹底していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは全て作成しております。また、コロナ感染症マニュアルも別途作成しました（いつでも閲覧可能です）。 ・「緊急時の対応について」の情報も、契約時にプリントして配布しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの見直し等を定期的に行い、より充実したマニュアルを作成し、保護者様と職員に共有することを目指しています。 ・ご家族への周知が不十分なようですので、面談時などでマニュアルについて説明し、ご希望の方には閲覧していただけるようにしたいと考えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回は実施できている。 ・月に1回、地震、火災、水害、不審者などの訓練を徹底して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練は年に2回以上の頻度で当局から指導されますが、当事業所では地震、火事、水害、不審者など様々なシナリオを想定して、通常は月に1回（年に12回）の頻度で訓練を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続してまいります。

	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・研修を行っている。	虐待研修を全職員に実施し、虐待に関する知識と権利意識を向上させるとともに、各職員の虐待のチェックリストを毎年実施しています。また、虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を設立し、虐待の疑いがある事案がないかを定期的にチェックしています。	職員とご家族のメンタル面への配慮を大切に、虐待が発生しないような環境整備を今後も続けていきたいと思ひます。
非常時の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・マニュアルと記録表を作成している。	・現在まで、身体拘束を実施したことはありません。身体拘束については、「切迫性」「非代替性」「一時性」という三つの要件を満たし、かつ、それらの要件を複数の職員で確認できた場合、利用児とその保護者からの承諾を得て行うこととしています。また、一部の利用児については、個別支援計画に身体拘束の記載があり、保護者に説明を行い同意を得ています。	・今後も、利用児の心身の状況を丁寧に観察し、保護者様や関係機関との連携を密接に保ちながら、身体拘束を必要としない支援を提供し続け、身体拘束の発生をゼロに維持していく方針です。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・保護者を通じて対応している。 ・台所に子ども別でアレルギー表があり、みられるようになっている。 ・食物アレルギーのある子どもがいない。	・食物アレルギーのある利用児が現在には不在です。 ・食物以外のアレルゲンに関しては、保護者から情報を収集し、それに基づいてアレルゲンのリストを作成し、職員間で共有できるようにしています。	・今後、食物アレルギーのある利用児が通所された場合には、医師の指示書に基づいて対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	・共有できている。 ・ファイリングし、共有できるよう保管している。	ヒヤリハットの報告書を作成し、全職員で周知徹底しております。また、法人の常勤会議では、各事業所で発生したヒヤリハットの報告を共有し、再発防止に向けて協力して取り組んでおります。	今後も継続して、ヒヤリハットの発生場面を減少させるために努力してまいります。